

株式会社 川口化成

環境経営レポート

(期間：2023年7月～2024年6月)



作成年月日：2024年8月26日

I. 事業概要

1. 事業所名及び代表者名

株式会社 川口化成
代表取締役社長 山田 政臣

2. 事業所名

本社工場 : 静岡県沼津市桃里91-1 TEL..055-967-5252
組立工場 : 静岡県沼津市我入道江川8-1 TEL..055-934-1175
平成台工場 : 静岡県三島市平成台49 TEL..055-943-7500

3. 環境管理責任者名及び連絡先

環境管理責任者: 山田 政臣 y-masaomi@kk-kawaguchi.co.jp
環境管理事務局: 真野朱美、小川貴子
連絡担当者 : 山田 政臣 y-masaomi@kk-kawaguchi.co.jp

4. 事業の内容と対象範囲

- ・ 認証活動: プラスチック成形(中空・射出・延伸)、仕上げ加工及び組立並びに紙管カートリッジ 製造
- ・ 対象組織: 本社工場、組立工場、平成台工場

5. 事業規模

活動規模 : 2023年度 (第48期)
売上高 : 746,032 千円(2023年7月~2024年6月の実績)
従業員 : 73人
床面積 : 5,577 m²



特種形状射出成形品



特殊形状中空成形品



射出・中空成形品



工業機械用 PET ボトル



小型中空成形品



大型中空成形品

株式会社 川口化成 環境経営方針

制定 2006-7-1
第4回改訂 2024-7-1

(株)川口化成はプラスチック成形の生産において
地球環境に悪いものは買わない 造らない 出さない
ことを強く認識し 全員での活動を展開する。

活動重点施策

1. 国内外の環境関連法令ならびに 同意したその他の要求事項を遵守する。
2. 汚染予防と廃棄物の低減化 省エネルギーを常に考え行動し、継続的な改善を計画的に進める。
3. 全社員に地域との融和の大切さを教育し、自然との調和に心掛ける。
4. 環境にやさしい製品の開発をお客様と共同で展開する。
5. エコアクション21の維持管理とCMSの遵守を行い、環境に優しい企業として社会的責任を果たす。
6. 環境に優しい成形工場を目指し、エネルギーの使用においては常に省エネ意識を持ち、CO2削減を目標に取り組む。
7. グリーン購入の実施

株式会社 川口化成
代表取締役社長 山田 政臣

III.環境経営目標とその実績

・2023年度の取り組み、目標に対し社員全員で環境活動を実施してきました

1. 環境目標

※総排水量は、2020年度：19年度に検針箇所が増えたので、目標を19年度実績をベースに変更)

※総排水量は、2021年度：20年度に平成台が稼働したので、目標は20年度実績をベースに再度変更)

※廃棄物排出量は、2021年度：20年度に平成台が稼働したので、目標は20年度実績をベースに変更)

項目 / 年度	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量の削減 (’18年度 実績をベースに)’23年度までに 2.5%削減する) ※’18年度 実績 965.29 kgc/M円	kgc / M円 減少(%)	960.46 0.5	955.63 1	950.81 1.5	945.98 2	941.15 2.5
廃棄物排出量の削減 (当初’18年度実績をベースに目標設定したが、 平成台工場が加わったので’20年度をベースに変更 ※’20年度 実績 42.90 t	t 減少(%)	48.88 0.5	48.63 1	42.69 0.5	42.47 1	42.26 1.5
総排水量の削減 (’20年度 実績をベースに)’23年度までに 1.5%削減する) ※’20年度 実績 3,782.0 m ³	m ³ 減少(%)	3,297.0 0	3,763.1 0.5	3,763.1 0.5	3,744.2 1	3,725.3 1.5

出光昭和シェル : 0.359

二酸化炭素係数 : 関西電力 : 0.318 (kg-CO2/kWh)

東京電力エジパトナ : 0.475

2. 環境負荷実績

当社における二酸化炭素の排出量（売り上げ100万円当たり）、廃棄物の排出量、総排水量の2023年度の実績は以下の通りです

2023年度実績

項目 / 年度	単位	2022年度 実績	2023年度 目標	2023年度 実績	現在評価
二酸化炭素排出量	kgc/M円	808.05	941.15	1,060.21	×
廃棄物排出量	t	43.36	42.26	63.71	×
総排水量	m ³	2,061.5	3,725.3	2,087.5	○

※2023年度 二酸化炭素排出量実績値 790,953 kg - CO2 売上高746.032百万円

<評価及び是正処置>

※ 二酸化炭素排出量 (kgc/M円) は目標値を未達。

原因 ①電力使用量 (kwh) は【前年比1.5%減少】しているものの、電力購入先変更

(出光昭和シェ→東電EP) によりCO2排出係数が大幅に増加した。

電気使用量 前年度：1,668,644 k Wh → 今年度：1,643,605 k Wh (-1.5%)

CO2排出量 前年度：627,948kg-co2 → 今年度：778,310kg-co2 (+24%)

是正① 品質改善活動の展開で、設備のムダ稼働を抑える。

是正② 省エネルギーの推進および電力購入先の検討を進める。

※ 廃棄物排出量 (t) は目標値を未達。

原因 福井事業所移管に伴い、本社および平成台工場で廃棄物が増加した。

是正 廃棄物のうち、86.7%はリサイクルしているため、引き続きリサイクル比率を維持するよう努める。

III.環境経営目標とその実績

3. 2024～2028年の中期目標

2024年度から2028年度までの中期（5か年）環境目標を以下のとおりとする。

項目 / 年度	単位	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
1. 二酸化炭素排出量の削減 '23年度実績をベースに '28年度までに 2.0%削減する ※'23年度 実績 1060.21 kgc/M円	kg c / M円 減少(%)	1060.21 0.0	1054.91 0.5	1049.61 1.0	1044.31 1.5	1039.01 2.0
1-1. 電気使用量の削減 '23年度実績をベースに '28年度までに 2.0%削減する ※'23年度 実績 2,203 kWh/M円	kWh / M円 減少(%)	2203.00 0.0	2191.99 0.5	2180.97 1.0	2169.96 1.5	2158.94 2.0
1-2. ガソリン・軽油使用量の削減 '23年度実績をベースに '28年度までに 2.0%削減する ※'23年度 実績 5,085 ℓ	ℓ 減少(%)	5085.00 0.0	5059.58 0.5	5034.15 1.0	5008.73 1.5	4983.30 2.0
1-3. 水使用量の削減 '21～23年度の3年平均をベースに '28年度までに 2.0%削減する ※3年平均 2646 m ³	m ³ 減少(%)	2646.00 0.0	2632.77 0.5	2619.54 1.0	2606.31 1.5	2593.08 2.0
2. 廃棄物排出量（埋立）の削減 '22～23年度の2年平均をベースに '28年度までに 2.0%削減する ※2年平均 7.01 t	t 減少(%)	7.01 0.0	6.97 0.5	6.94 1.0	6.90 1.5	6.87 2.0
3. 廃プラリサイクル率 '22～23年度の2年平均をベースに '28年度までに 2.0%上昇する ※2年平均 86.0 %	% 上昇(%)	86.0 0.0	86.5 0.5	87.0 1.0	87.5 1.5	88.0 2.0
4. 再生材利用率 '23年度実績をベースに '28年度までに 2.0%上昇する ※'23年度 実績 38.0 %	% 上昇(%)	38.0 0.0	38.5 0.5	39.0 1.0	39.5 1.5	40.0 2.0
5. コピー用紙購入量 '23年度実績をベースに '28年度までに 10.0%削減する ※'23年度 実績 138,500 枚	枚 減少(%)	138500 0.0	135038 2.5	131575 5.0	128113 7.5	124650 10.0

出光昭和シェル : 0.359
 二酸化炭素係数 : 関西電力 : 0.318 (kg-CO2/kWh)
 東京電力エナジーパートナー : 0.475

2. 環境負荷実績

当社における二酸化炭素の排出量（売り上げ100万円当たり）、廃棄物の排出量、総排水量の2023年度の実績は以下の通りです

2023年度実績

項目 / 年度	単位	2022年度 実績	2023年度 目標	2023年度 実績	現在評価
二酸化炭素排出量	kgc/M円	808.05	941.15	1,060.21	×
廃棄物排出量	t	43.36	42.26	64.70	×
総排水量	m ³	2,061.5	3,725.3	2,087.5	○

※2023年度 二酸化炭素排出量実績値 790,953 kg - CO2 売上高746.032百万円

<評価及びは正処置>

※ 二酸化炭素排出量（kgc/M円）は目標値を未達。

原因 ①電力使用量（kwh）は【前年比1.5%減少】しているものの、電力購入先変更

（出光昭和シェ→東電EP）によりCO2排出係数が大幅に増加した。

電気使用量 前年度：1,668,644 kWh → 今年度：1,643,605 kWh（-1.5%）

CO2排出量 前年度：627,948kg-co2 → 今年度：778,310kg-co2（+24%）

是正① 品質改善活動の展開で、設備のムダ稼働を抑える。

是正② 省エネルギーの推進および電力購入先の検討を進める。

※ 廃棄物排出量（t）は目標値を未達。

原因 福井事業所移管に伴い、本社および平成台工場で廃棄物が増加した。

是正 廃棄物のうち、86.7%はリサイクルしているため、引き続きリサイクル比率を維持するよう努める。

IV.経営活動予実績表

環境改善計画書 本社工場・組立工場・平成台工場

環境目的及び実施項目	目 標	担当	ス ケ ジュ ール					
			2019年度 (実績)	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2023年度 (実績)	
1、省エネルギー活動（二酸化炭素排出量の見直し） (1) 電気 ①作業場と製品置場を区別し、蛍光灯の点灯数を減らす ②成形機の予熱時間の短縮 ③停止機械のメイン電源のOFF ④昼休み時間の消灯の徹底 ⑤省エネ掲示の設置	2023年度CO2排出量	各職場	1054.95 kgc/M円	827.47 kgc/M円	837.99 kgc/M円	808.05 kgc/M円	1060.21 kgc/M円	
	941.15kgc/M円							
	2023年度電力使用量		1,499,761 kwh	1,627,272 kwh	1,727,792 kwh	1,668,644 kwh	1,643,605 kwh	
	1,564,300kwh							
(2) 燃料 ①車のアイドリングストップを徹底する	2023年度ガソリン使用量	各職場	2,209 ℓ	1,616 ℓ	1,900 ℓ	1,822 ℓ	1,973 ℓ	
2,172 ℓ								
2、省資源活動（産業廃棄物量の削減） ①廃棄物のリサイクル化率の向上(4R活動) ②生産現場の5 Sステップアップ活動展開による不良の撲滅 ③コピー用紙の使用量の削減 ④水道使用量の節水 ⑤紙管関係の産廃の削減	2023年産業廃棄物総排出量	各職場	52.4 t	42.90 t	44.68 t	43.36 t	63.71 t	
	47.9 t							
	リサイクル化率100%	製造部 生産技術部	不良率平均(%)	1.21 %	1.52 %	1.31 %	1.50 %	2.66 %
	2023年度不良率							
	1.16%	各職場	2023年度水使用量	106,000 枚	104,000 枚	109,000 枚	109,500 枚	138,500 枚
	2023年度水使用量		3,297 m ³	3,782 m ³	4,393 m ³	2,062 m ³	2,088 m ³	
	3,231m ³	組立	2023年度廃棄物量	7.98 t	3.83 t	2.84 t	2.96 t	0.14 t
2023年度廃棄物量								
5.18 t								
3、汚染防止（法規制の遵守） ①成形樹脂の飛散防止 ②CMS活動の展開	法規制	成形G	教育・訓練の実施	継続する	継続する	継続する	継続する	
	違反ゼロ							
4、リサイクル ①PET不良成形品をリサイクルする ②段ボールをリサイクルする	異物不良を除き リサイクル100%	成形G 各職場	PET樹脂のリサイクル成形	継続する	継続する	継続する	継続する	
	産業段ボールの リサイクル100%		段ボールのリサイクル	継続する	継続する	継続する	継続する	
5、地域との融合活動 ①工場周辺の清掃活動 ②海浜クリーン活動	活動の継続中	全社員	工場周辺清掃活動	継続する	継続する	継続する	継続する	
			海浜ゴミ拾い活動	継続する	継続する	継続する	継続する	
6、環境にやさしいプラスチック容器の共同開発 ①一般廃フレックPETを使用してSRTC [®] ト量産化 ②CNF化	活動の継続	経営企画室 生産技術	PET樹脂のリサイクル成形	PET樹脂のリサイクル成形	PET樹脂のリサイクル成形	協力継続する	協力継続する	
	研究機関と 共同開発		研究機関と共同活動	研究機関と共同活動	研究機関と共同活動	継続する	継続する	
7、グリーン購入 事務用品のグリーン購入化 グリーン購入に努める（複写機・FAX：エコマーク対象商品）	活動の継続		事務用品は100% 実施	事務用品は100% 実施	事務用品は100% 実施	事務用品は100% 実施	事務用品は100% 実施	

① 2023年度経営活動計画と評価

○ : 実施 △ : 一部実施 × : 未実施

項目	活動項目	評価	コメント
二酸化炭素 排出量の削減	①照明器具のLED化	○	・検査室照明のLED化
	②試験室夜間エアコン停止	○	・PM5:00～AM6:00迄停止
	③夏場電力、ピーク時エアコン停止	○	・デマンド警報器でピークを感知し手動でエアコン停止
	④駐車時のアイドリングストップ	○	・啓蒙により徹底
	⑤ロス低減分析及びロス低減活動	△	・分析が弱い
廃棄物 排出量の削減	①不良率の削減 (5S活動の展開、維持、管理)	△	・工程内品質は微増で改善が見られない
	②書類を紙ベースからDB化する	△	・日報の電子化準備中 生産現場で直接入力を検討
	③PET再生材の促進	○	・リサイクルPETとしての業者引渡し
総排水量の 排出量の削減	①上水道の節水化	○	・トイレ排水工事を実施
	②成形機冷却水の有効活用	○	・配管ルートの見直し 断熱配管対策を実施
その他	①海浜清掃の実施	○	・海浜清掃(1回/年)の継続
	②周辺道路の清掃	○	・工場周辺の毎日清掃実施

② 2024年度経営活動計画

項目	活動項目	活動方法
二酸化炭素 排出量の削減	①照明器具のLED化拡大	・未設置箇所へ拡大していく
	②エアコンの間欠運転	・生産に支障のない範囲で間欠運転を行う 停止時間拡大の検討を行う
	③夏場電力、ピーク時エアコン停止	・電力ピーク時電力を見直し、更に エアコン停止可能範囲を検討する
	④車のアイドリングストップの徹底	・継続実施
	⑤ロス低減分析及びロス低減活動	・ロスの洗い出しと改善アイデア抽出
廃棄物 排出量の削減	①不良率の削減 (品質クレーム分析による再発防止)	・品質の向上を図り、作り直し(廃棄)の低減を図る。
	②紙使用の削減検討を行う	・生産日報の電子化実施 FAX受信の業務フローの改善
	③プラスチック再生材の促進	・リサイクルプラとしての業者引渡し
総排水量の削減	①クーリングタワー等の水ロスを監視	・水使用量を監視し、漏水等を防止する。
	②節水啓蒙活動	・水の使い方に無駄が無いかが調査し、 水使用の具体的方法を啓蒙する。
その他	①海浜清掃 (継続活動)	・海浜清掃(ゴミ拾い)実施(1回/年)
	②工場周辺の清掃	・工場周辺清掃(毎日実施)の継続

V. 主な経営活動結果と評価

1. 2023年度結果と評価及び2022年度結果の比較

① 二酸化炭素排出量の削減活動

項目	前年度実績	主な活動 (2023.7 ~ 2024.6) 活動結果	評価
	今年度実績		
電気使用量の削減 単位：kWh 【目標値】 1,564,300	1,668,644 kWh 1,643,605 kWh	<p>【全社】売上高と電気使用量の比率</p>	対前年 -1.5% 対目標 105%
ガソリン使用量の削減 【目標値】 2172	1,822 ℓ 1,973 ℓ	<p>【全社】売上高とガソリン使用量の比率</p>	対前年 8.3% 対目標 91%
軽油使用量の削減 【目標値】 未設定	2,981 ℓ 3,113 ℓ	<p>【全社】売上高と軽油使用量の比率</p>	対前年 4.4% 対目標 -
灯油使用量の削減 【目標値】 未設定	0 ℓ 0 ℓ	<p>【全社】売上高と灯油使用量の比率</p>	対前年 - 対目標 -

① - a. 評価及び是正処置

※電気使用量は前年比1.5%減、対目標値で105%の実績で未達

原因 福井事業所移管による、設備増加により使用量が増加した

是正 品質改善によって作り直しのムダ、ロス改善を目指す

※ガソリン使用量は前年比8.3%増、対目標値は91%の実績で達成

原因 福井事業所移管に伴う出張機会の増加

是正 一時的なものであるため、今後は減少の見込み

※軽油使用量は前年比4.4%増、対目標値は未設定

原因 自社配送を戦略的に増やしている為、燃料使用が多くなった。

是正 搬送戦略にそった目標の見直しを行う。

②廃棄物排出量の削減

項目	前年度実績	主な活動 (2023.7 ~ 2024.6) 活動結果	評価
	今年度実績		
廃棄物廃棄量削減	43.4		対前年 46.8%
	t		対目標
	【目標値】 42.26		t

② - a. 評価及び是正処置

※産業廃棄物量は前年比+49.1%と大幅に増加した
原因 平成台工場での生産量増加による廃棄物廃棄量の増加によるが、リサイクルプラの廃棄量が大幅に増加 (5.6 t → 19.1 t) している。
是正 品質改善によって作り直しのムダ、ロス改善を目指す

※コピー用紙購入量は、2022年度109,500枚、2023年度138,500枚と増加の方向。
原因 福井事業所移管による生産数増加により、使用量 (現品票等) の増加となっている。
是正 今後は、紙の使用状況調査を行い、減少に向けた改善検討を実施する。
 また、システム化、デジタル化による紙使用量の削減を実施する。

③総排水量の削減

項目	前年度実績	主な活動 (2023.7 ~ 2024.6) 活動結果	評価
	今年度実績		
水道使用量の節水	2,062		対前年 1.3%
	m ³		対目標
	【目標値】 3725.3		m ³

③ - a. 評価及び是正処置

※目標値に対して、総排水量は大幅に減少
原因 クーリングタワー給水トラブルを解消したことにより、水使用量は安定した
是正 改善が図れているので、維持継続のため監視していく

株式会社 川口化成 環境管理 組織図及び機能図

作成日 2008.06.07
 改訂日 2009.04.10
 見直し日 2010.04.01
 改訂日 2014.04.01
 改訂日 2014.10.01
 改訂日 2015.07.01
 改訂日 2018.10.01
 改訂日 2019.07.01
 改訂日 2020.04.01
 改訂日 2020.07.01
 改訂日 2021.04.23
 改訂日 2022.04.28
 改訂日 2024.02.13

承認	審査	作成

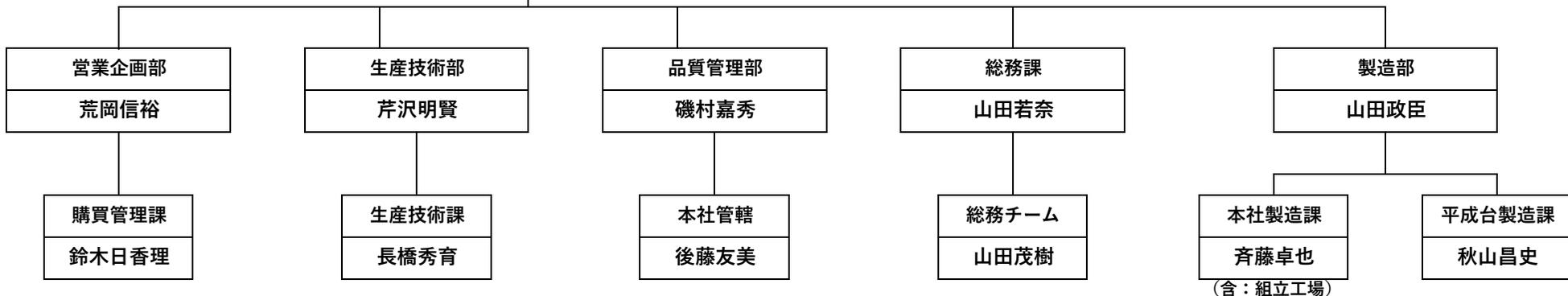
経営責任者
 代表取締役社長 山田政臣

- 環境保全活動方針の設定と周知徹底を図る
- 不可欠な活動として、維持管理のため成果の確認と評価を行なう
- 社会情勢、環境変化に対して、方針の継続的な改善を心がける
- 環境に優しい企業として、社会的責任(CSR)を果たす

環境管理責任者
 代表取締役社長 山田政臣

- 環境保全活動の方針に基づく具体的計画の作成
- 実行計画の推進とグリーン調達に基づく
- エコアクション21の学習と教育指導を行なう
- 活動の実績確認を評価し、次期活動の資料を提供する
- 環境マネジメントシステムの定例会議を主催する
- 使用禁止物質の現物管理 (CMS)
- 使用禁止物質の工程管理
- 各工場への水平展開

推進事務局
 小川貴子
 真野朱美



E A - 2 1 活動は全組織対象で取り組む

VI.地域との融合活動

浜の清掃

2023年11月13日実施



カン:3袋
びん:1袋
燃えるゴミ:2袋
埋め立てゴミ:31袋

VII.環境にやさしいプラスチック容器の開発

セルロースナノファイバー（CNF：Cellulose Nano Fiber）

植物由来の素材で鋼鉄の5分の1の軽さで5倍の強度等の特性を有するCNFに着目し、樹脂材料をCNFで補強した複合樹脂を使用することで、CO2の効果的な削減を図る。ブロー成形で小型ボトルを成形、良好なCNF分散性を示し、引張及び曲げ強さが上昇、シャルピー衝撃値は低下したが、PE/CNFのMBをブロー成形に適用できることが判明。

VIII.グリーン購入実績

事務用品大多数がグリーン購入品となっている。

O A用紙では、白色度 約90%であり、両面对応で且つエコ包装も出来ている。

IX.環境法規制の遵守状況と一覧表

①違反、訴訟等の有無

過去3年間、法規制違反はありませんでした。また、訴訟もありませんでした

②騒音・振動に関する活動

項目	法規制違反ゼロ 公害クレームゼロ	項目	法規制違反ゼロ 公害クレームゼロ
騒音	評価 : 《 ○ 》	振動	評価 : 《 ○ 》

環境法規制一覧表

環境関連本法等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

遵守確認日 令和6年8月26日

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	条項	確認状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の委託契約	契約（書）の締結	第12条5項	確認 済
	マニフェストの管理	D票、E票の返却	第12条2項	確認 済
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	第12条3項	確認 済
	マニフェストの保管	5年間	第12条3項	確認 済
	投棄禁止	不法投棄を行わない		確認 済
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	規 第6条	確認 済
	保管場所への掲示	60cm×60cm 以上掲示	第12条の1・2項	確認 済
	マニフェストの年間集計と知事への報告	6月30日までに提出	第12条の3第7項	2024年6月10日提出した事を確認
静岡県産業廃棄物の処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者を置く	保管場所表示内記載	第8条	確認 済
	処分業者の実地確認	年1回	第10条	2024年4月19日
沼津市一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出		第3条1	確認 済
騒音・振動規制法	指定地域での特定施設	特定施設の届出	第6条	確認済み
	特定施設の変更および新規設置	測定確認	第8条	確認 済
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫 他	第6条	【該当なし】
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	第4条	【該当なし】
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	第5条	確認 済
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	第11条	確認 済
グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	第5条	確認 済
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	第8条、第73条	【該当なし】
浄化槽法	浄化槽使用開始届け	現事業所移転時	第10条、11条	点検記録2024年8月5日 法定検査2024年4月19日
	保守点検、法定検査	3ヶ月に1度、年1回		
下水道法	排水設備、除外施設の新設変更する場合	管理者（市長）への届出	-	【該当なし】
消防法	指定可燃物の届出	署管消防署への届出	-	点検記録を確認 済
フロン排出抑制法	廃棄時引き取り業者への引き渡し	3ヶ月に1度	第16条	エアコン1度/3ヶ月簡易点検
静岡県条例	静岡県生活環境の保全に関する条例	騒音 3.7kw以上 クーリングタワー 0.75kw以上	-	確認 済
CMS	リコー化学物質の管理	新規と変更時での把握と報告	-	2023年4月28日

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

X.代表者による評価と見直し

代表者による全体評価と見直し結果

代表者による全体の評価と見直しを行った結果は、次の通りである。

見直し実施日	2024年8月26日	見直し者	山田政臣
代表者による 全体評価内容	<p>①環境経営システムが有効に機能しているか ○</p> <p>②環境への取り組みは適切に実施しているか ○</p> <p>③環境方針を認識し、更に活動を展開しているか ○</p> <p>(講評)</p> <p>環境マネジメントシステムとしての機能は維持継続出来ていることを確認した。</p> <p>しかしながら、エネルギー使用量の削減等、目標未達成となっている取組みがあるため、目標達成のための積極的な展開を期待する。</p>		
見直し項目の有無	<p>①環境経営方針 変更なし</p> <p>②活動重点施策 変更あり</p> <p>③環境経営目標 変更あり</p> <p>④具体的な施策 変更あり</p> <p>⑤環境管理責任者 変更なし</p> <p>⑥その他システムに関すること 変更なし</p> <p>⑦法令、外部への対応等 変更なし</p>		
見直し項目の 具体的な内容	<p>②活動重点施策、③環境経営目標および④具体的な施策</p> <p>2024年8月26日付けで改定。</p> <p>全員活動として、社員が日常身近な取組として実施できる内容に変更した。</p>		

2024年8月26日
株式会社川口化成
代表取締役社長 山田 政臣